

DUCATI BIKES

for passion X pleasure

Vol.1

THE NEW MONSTER

気になるモンスター兄弟、696と1100どっちが良いの？

2009 モデル先行取材

M1100 速攻試乗レポート

ドゥカティ本社のファクトリー訪問

怪物の巣窟、M696工場へ潜入

ライダーが味わう最高のおもてなし

DDDで巡るドロミテ山地の旅

最新カスタムマシン&パーツカタログ 1098 特集



NCR NEW BLUE

エンジンパーツは、パフォーマンス向上とともに信頼性も考慮に入れた選択がされている。コンロッドは強度に優れたH型断面の真直で、クランクもウェブ部分を大胆にカットされたレーシング仕様だ。駆動系の軽量化も手抜きが少なく行い、高回転でのフリクションロスを限りなく抑えた内容だ。パワーは118hp/8450rpm、トルクは10.6kg-m/6700rpmを発揮する。

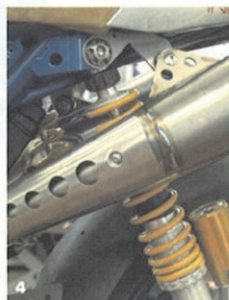


デイトナに甦ったレーシングブルーの伝説

懐かしく、かつ新鮮なスポーツクラシックベースのレーサーは、1977年、デイトナに残した伝説の復活を試みた1台だ。「NCR ニュー・ブルー」と名づけられたスポーツ1000 Sベースの空冷レーサーは、2007年、デイトナのサウンド・オブ・サンダーで優勝し、「クック・ニールソンと750SSの再来！」と騒がれたバイクである。

ルックスは派手でシャシーからエンジンまですべてに手が入るが、その作りこみは基本に忠実な

ものだ。ただ、その基本へのこだわりが強烈である。「軽さはすべてに勝る」という考えの徹底振りには、ストリート仕様から38kgもダイエットし150kgという重量の実現に現れている。そこに116hp(こちらは40%増)までアップしたNCR1100エンジンを搭載し、足周りはオーリンズやブレンボなど名門を惜しまず使う。スポーツクラシックの中でも類を見ない作り込みを持つコレは、購入後、即レースが可能なパッケージが売りだ。



1. ブルーに彩られたトリスフレームが象徴的だ。ホイールベースは1400mmと、この辺りは一般的な設定。当然ながらすべてのボルト&ナット類はゴジボリーニのチタニウム製を使う。2. ホイールはBSTのカーボンホイール。キャリパーはブレンボのレーシングモノブロック。ローターはブレーキングのウェーブディスク。フォークはオーリンズの43φアップサイドダウンにNCR製のチタン削り出しボトムブラケットの組み合わせと、これ以上はない組み合わせ。3. 華美になりがちなステップ周りだが、NCRのそれはシンプル且つ合理的。4. リアショックもオーリンズだが、マウントボルト類もスペシャル。この作り込みがNCRの真骨頂である。

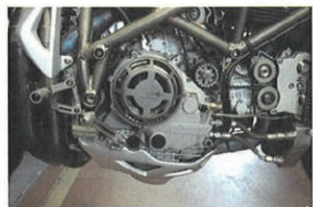
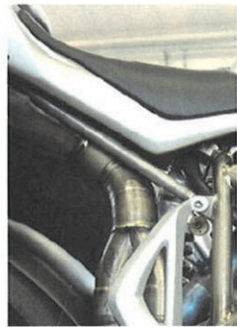


NCR MACCHIA NERA Concepto

車重とパワー、この組み合わせを想像できるか？

NCRが、現在の持てる技術を駆使し自らの哲学に反映させて作り込んだのが、このコンセプトモデル“マッキア・ネラ”だ。そのユニークな名前、出で立ちは、これまでにないモーターサイクルの創出を狙って様々なアプローチの結果に生まれたモノ。一例を挙げると、マッキア・ネラの製作にはイタリアの有名デザイナーであるアルド・ドルディを起用し、そのスタイリングを完成させたとか。

しかし、かつてない価値観の創出を支えているのは、奔放なデザインだけではない。185hpのパワーに135kgの車重、このカップリングを技術的にバックアップしているのが、F1やmoto GP、そして航空宇宙産業など、ボジボリーニが1950年から培ってきたチタン合金に関する最新技術である。スーパーバイクを闘うレーシングマシン以上のパフォーマンスは、一体どんな乗り味なのか？



NCRによる軽量化とパワーアップへのチャレンジは尽きること知らない。このNCRとしてはじめての本格的水冷ユニットへのトワイは、すでに驚くべきデータを残している。乾燥重量はわずか135kgではないのだ！ほとんどの構成部品をチタン製とカーボン製でまとめ上げられ、最小限の組み合わせでどのように剛性と締結性を高めるかに専心されている。ちなみに、NCRでは社内に3Dプリンタや多軸マシニングセンターなど最先端の加工設備を持っており、現在はチタン製クランクケースまで試作。おそらく面近のミラノショーでその全貌を現すことになるだろう。それにしてもマッキア・ネラの凄みといったら...



新作はチタンフレーム×ハイパーモタード

NCRが公道用バイクとして初めてリリースするのが、ハイパーモタードベースのLeggeraだ。最大の特徴はチタン製フレームの採用で、車重も1100ccのストリートモデルとしてはかなり軽い157kgにまとまっている。メインフレーム単体で4.8kg、サブフレームに至っては1.5kgとか。さらにNCRコレでは、排気量1200cc、最高出力132ps、車重135kgというさらに“ハイパー”な仕様も用意されている。